

Ilolo な体験で成長する

人には生来、他者よりも優れた存在でありたいという欲求があります。特に、インターネットの普及で他人の生活を目にする機会が増えたため、自分よりも恵まれた環境にいる人や、うまくいっている人を見ると、平凡な毎日を過ごしている自分が他人よりも劣っているのではないかと感じてしまう人もいないでしょうか。今日も SNS 界限では、フォロワーが何万人とか、この人の写真が映えているとか、世の中がなんとなく成功を求める傾向になっています。確かに自分の存在や価値が証明されれば、他者よりも優位に立っていると感ずることができそうですが、誰かと比べることで得られる一瞬の満足感よりも、昨日の自分と比較して少しでも前に進めている充実感を得る生き方を大切にすべきではないかとも感ずるのです。元サッカー日本代表の本田圭佑選手は、次のような名言を残しています。

「結果にこだわるな、成功にこだわるな、**成長にこだわれ**」

令和7年8月6日(水)私は、フィリピンイロイロ市で実施した海外研修に4日間同行しました。英語が全く話せない私は、生徒の前で平静を保っていましたが「何事も挑戦だ!」の割り切った気持ちと「お願いだから誰も声をかけないでほしい」の不安な気持ちとが交錯していました。

翌日、いよいよプログラムが始まりました。マンツーマンで対応する現地大学生は、英語の理解だけではなく、うなずくこともできずに固まっている生徒へ対し、文法上の軽微な間違いや発音の不自然さがあっても、文脈から意味を読み取ってくれているようで、「OK!」「Thank-you!」と笑顔で応えます。この優しさは、生徒の話しかけたくなる気持ちを後押しするだけではなく、言葉が通じなくても、心が通じ合えば必ず伝わることを実感させ、気が付くと出会って2時間足らずで会場が日本語や英単語の飛び交う熱気に包まれていました。

三日目を終えた夜のこと、「昨日と比べてメンターさんの話が少し分かるようになっていたり、昨日と比べて簡単な英文だけどころちゃんと話すことができたり、質問以外にも話ができたりするなど、1日でここまで成長できるのだと驚きました。」「明日は、今日よりも明日を忘れずにどんどん成長していきたい。」と一日を振り返った生徒のコメントがあり、成長の大切さを痛感しました。



私は、所用で先に一人で帰国しましたが、途中、乗り換えのマニラ空港でのこと、トランスファーデスクが分からず迷ってしまいました。仕方なく、覚悟を決めてインフォメーションカウンターに向かうと、I want to go terminal 1. I can not speak English. Narita Japan over there? Help Me! 自信のない声で尋ねてみました。私の知っているカタコトの英単語と文法を無視した悲痛な叫びは、伝わったのかどうかは定かではありませんが、「OK!」との声を聞いた瞬間、絶望から生還したような気持ちになり、何とも言えない喜びを感じたのです。その後、無事に日本に辿り着いた私は、早速この出来事を現地に残る生徒の皆さんへ、次の様にコメントしました。「海外では、校長という役職も、肩書も、自分のキャリアもすべてにおいて意味がなく、無力感を感じました。でも、伝われば自信になり、伝わらない失敗は、経験になることを実感し、頑張っている皆さんを wonderful! great! と誇りに思いました! 校長先生は、皆さんのおかげで成長できました!」

時間の経過とともに英会話を成立させていく現地大学生との交流に感動した数日間、会場では、イロイロな学びの匂いが生徒の成長を一段と輝かせていました。

令和7年8月